

酒匂川水系四十八瀬川洪水浸水想定区域図 (計画規模)

酒匂川水系四十八瀬川洪水浸水想定区域図
(計画規模)

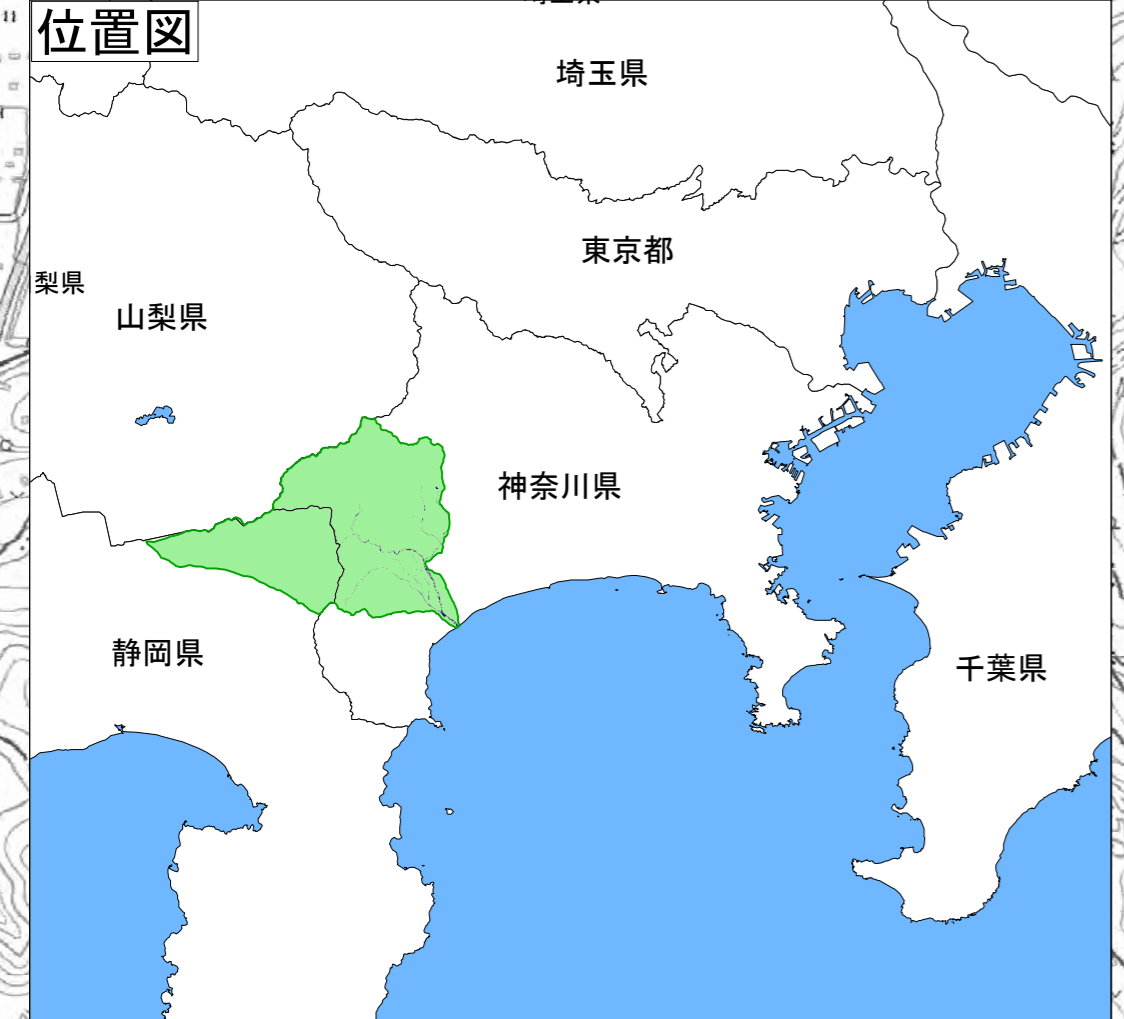
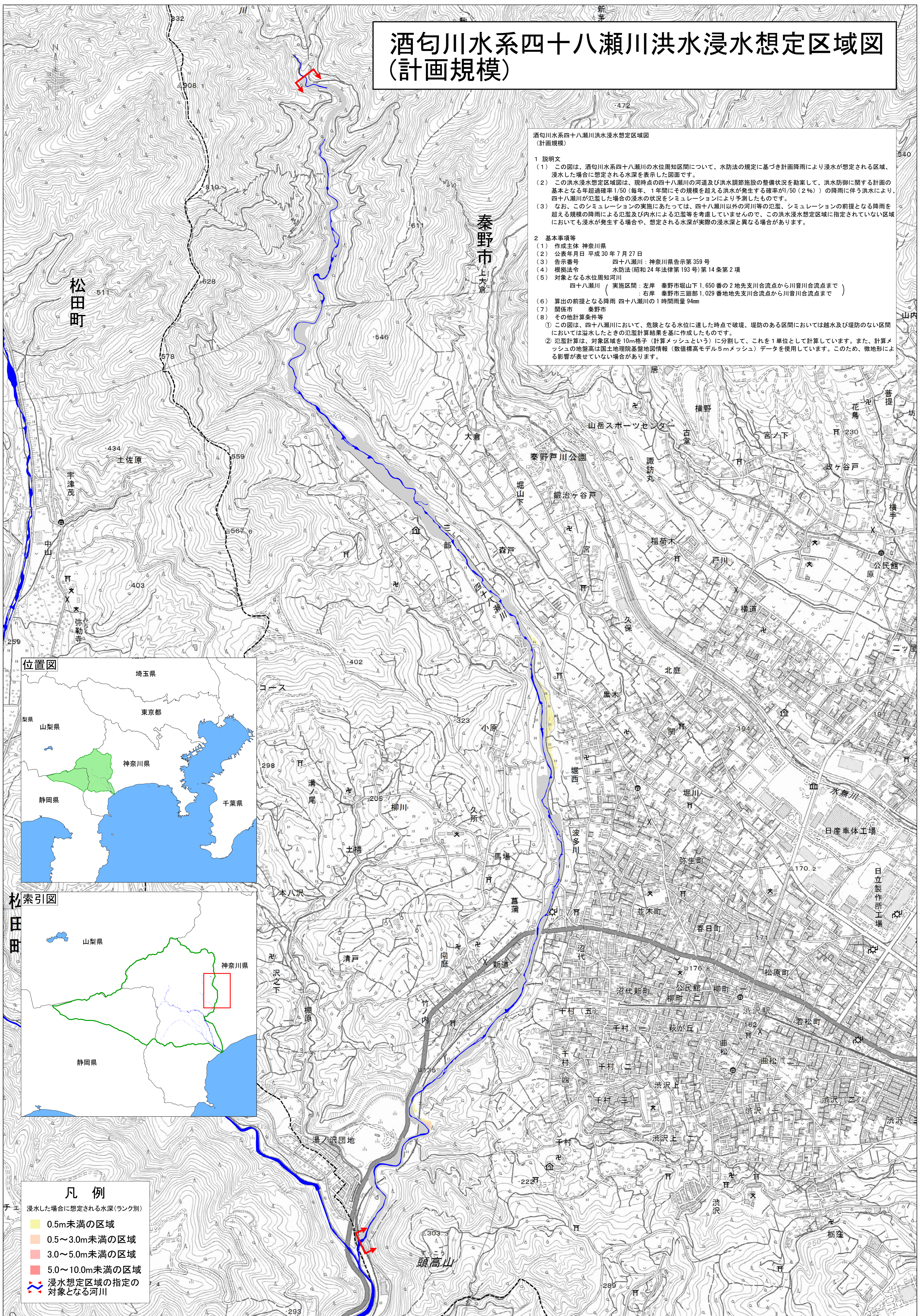
1 説明文

- (1) この図は、酒匂川水系四十八瀬川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、現時点の四十八瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水により、四十八瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、四十八瀬川以外の河川等の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する可能性や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 神奈川県
- (2) 公表年月日 平成30年7月27日
- (3) 告示番号 四十八瀬川：神奈川県告示第359号
- (4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- (5) 対象となる水位周知河川 四十八瀬川(実施区間：左岸 秦野市堀山下1,650番の2地先支川合流点から川音川合流点まで、右岸 秦野市三廻部1,029番地地先支川合流点から川音川合流点まで)
- (6) 算出の前提となる降雨 四十八瀬川の1時間雨量94mm
- (7) 関係市 秦野市
- (8) その他計算条件等

- (1) この図は、四十八瀬川において、危険となる水位に達した時点で破壊、堤防のある区間においては越水及び堤防のない区間においては溢水したときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
- (2) 氾濫計算は、対象区域を10m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は国土地理院基礎地図情報(数値標高モデル5mメッシュ)データを使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 浸水想定区域の指定の対象となる河川